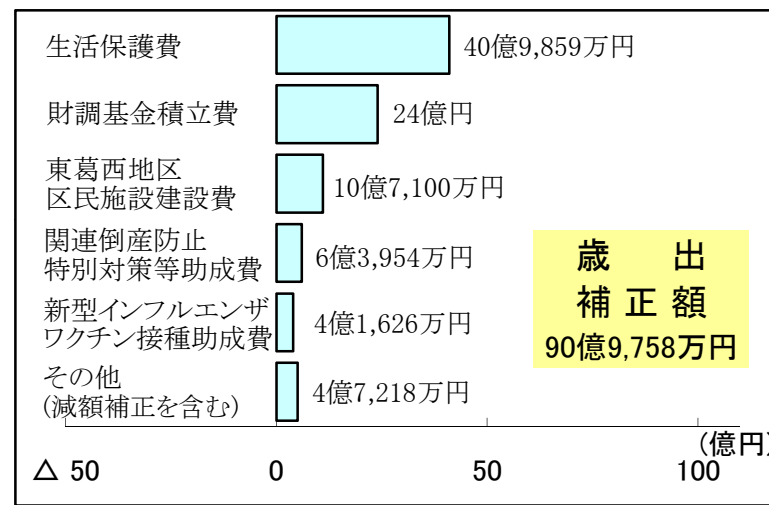
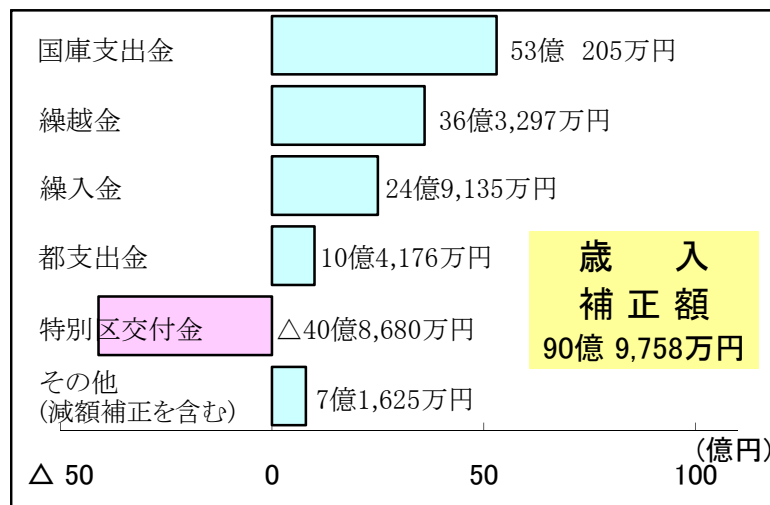


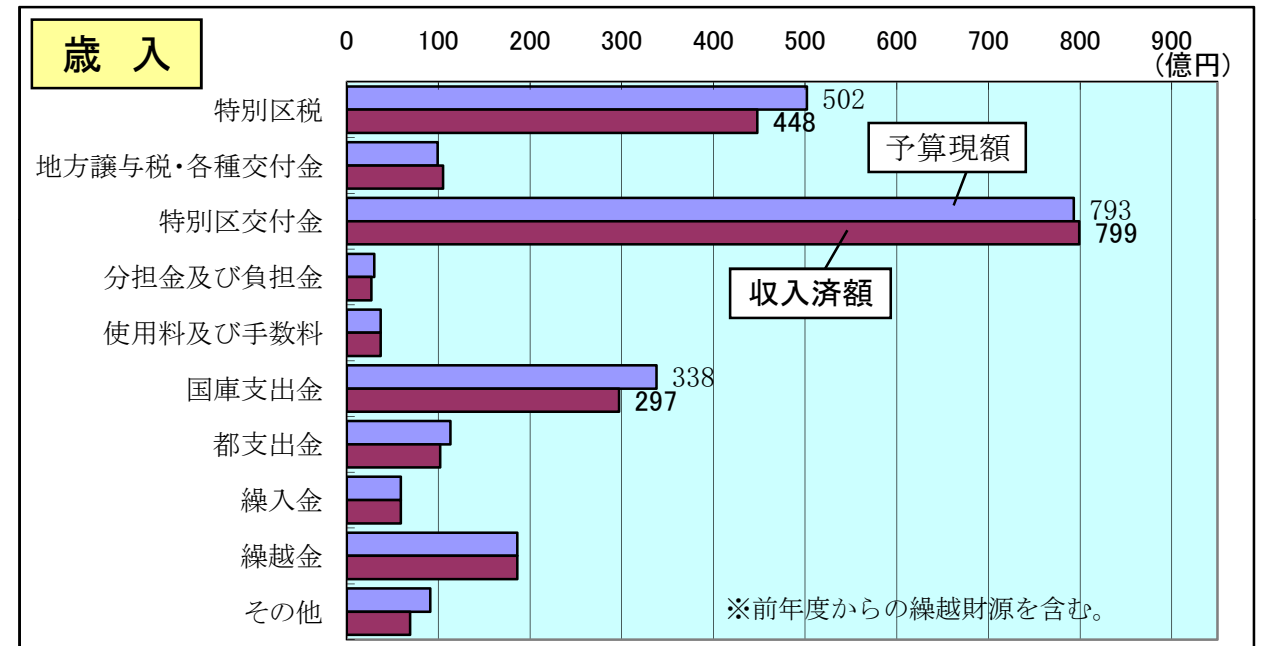
財政状況の公表 (21年度下半期) 概要版

※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

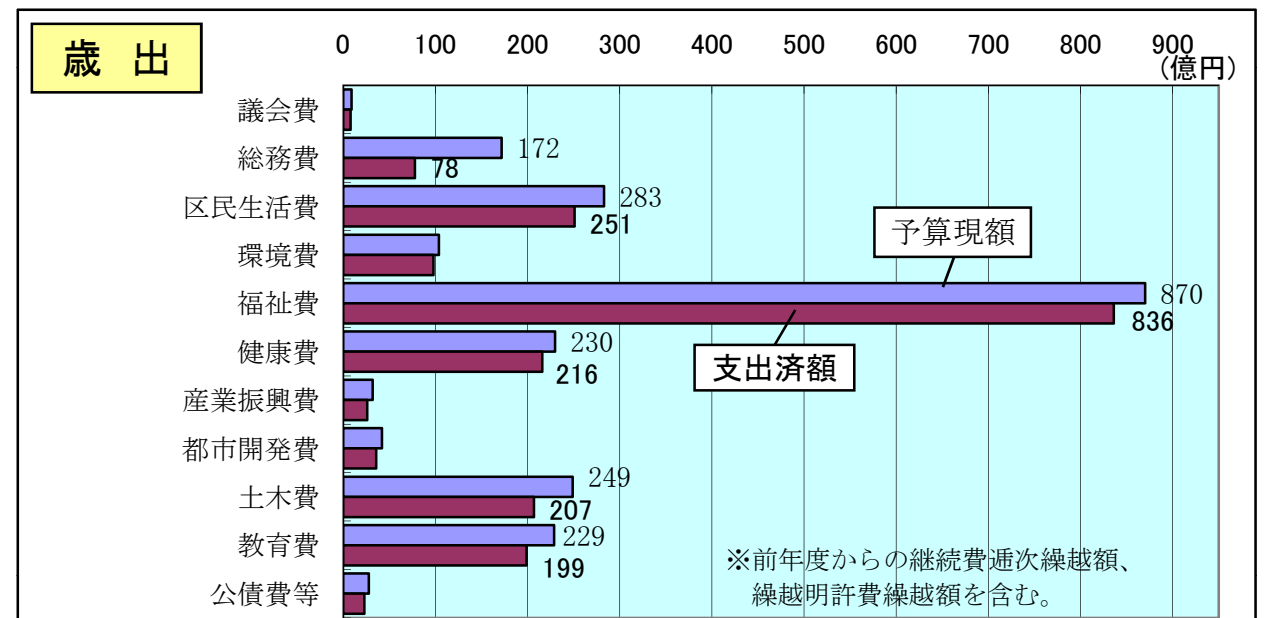
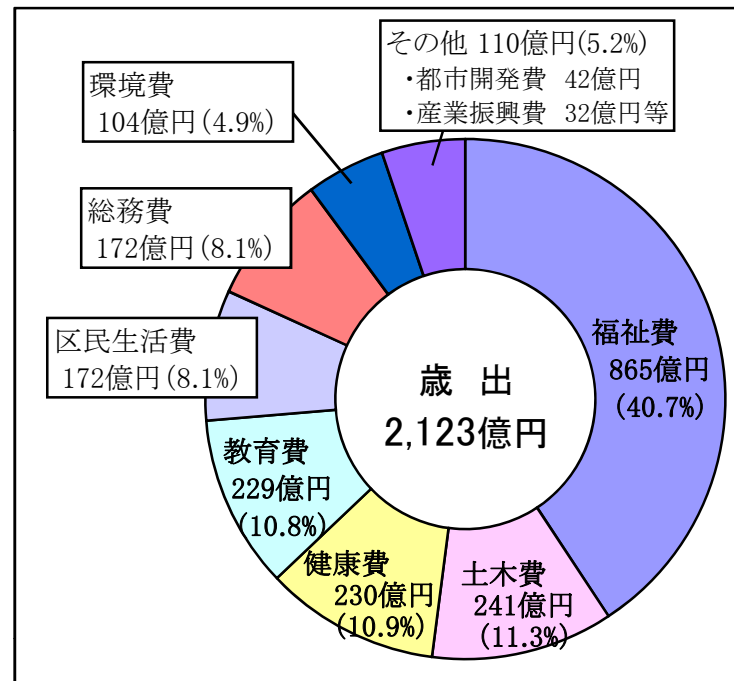
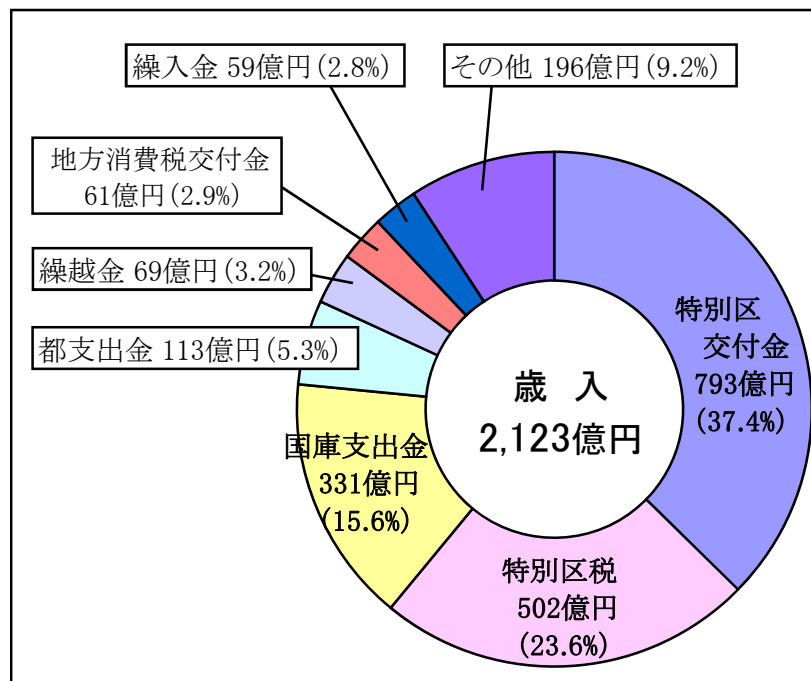
① 21年度予算のあらまし 一般会計「2号～5号補正」の概要



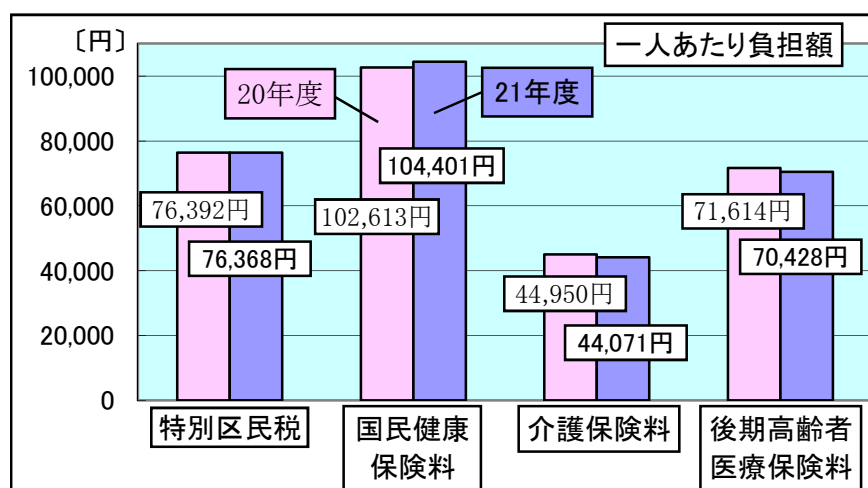
② 21年度予算の執行状況 一般会計(平成22年3月31日現在)



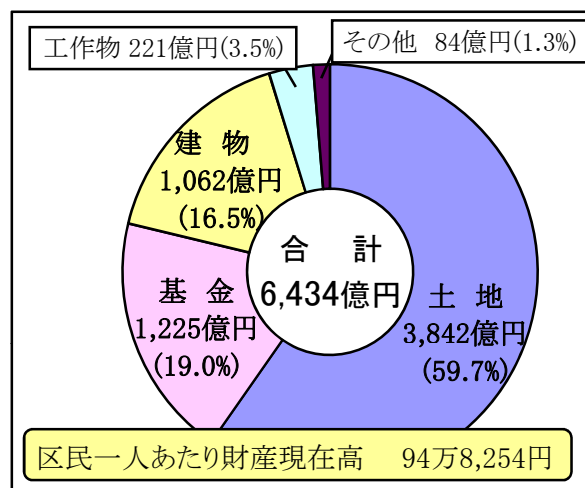
補正後の一般会計予算の構成



③ 区民の負担概況 (平成22年3月31日現在)



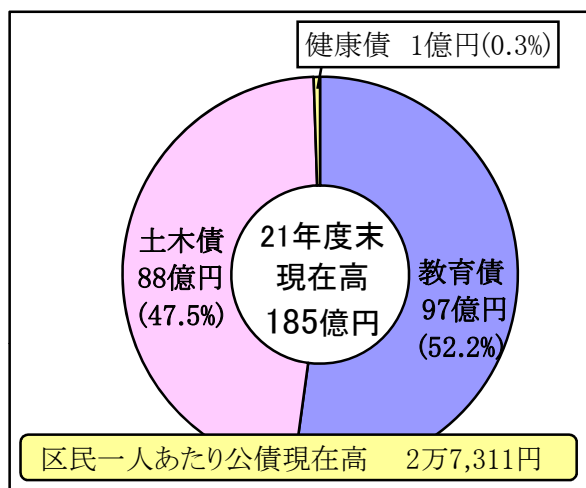
④ 財産の現在高 (平成22年3月31日現在)



基金とは…

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金はこの2つの合計です。
 積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、3月末現在高は1,025億円です。
 運用基金は、一定額の基金を土地取得のために運用するもので、200億円あります。

⑤ 公債の現在高 (平成21年度末現在高)

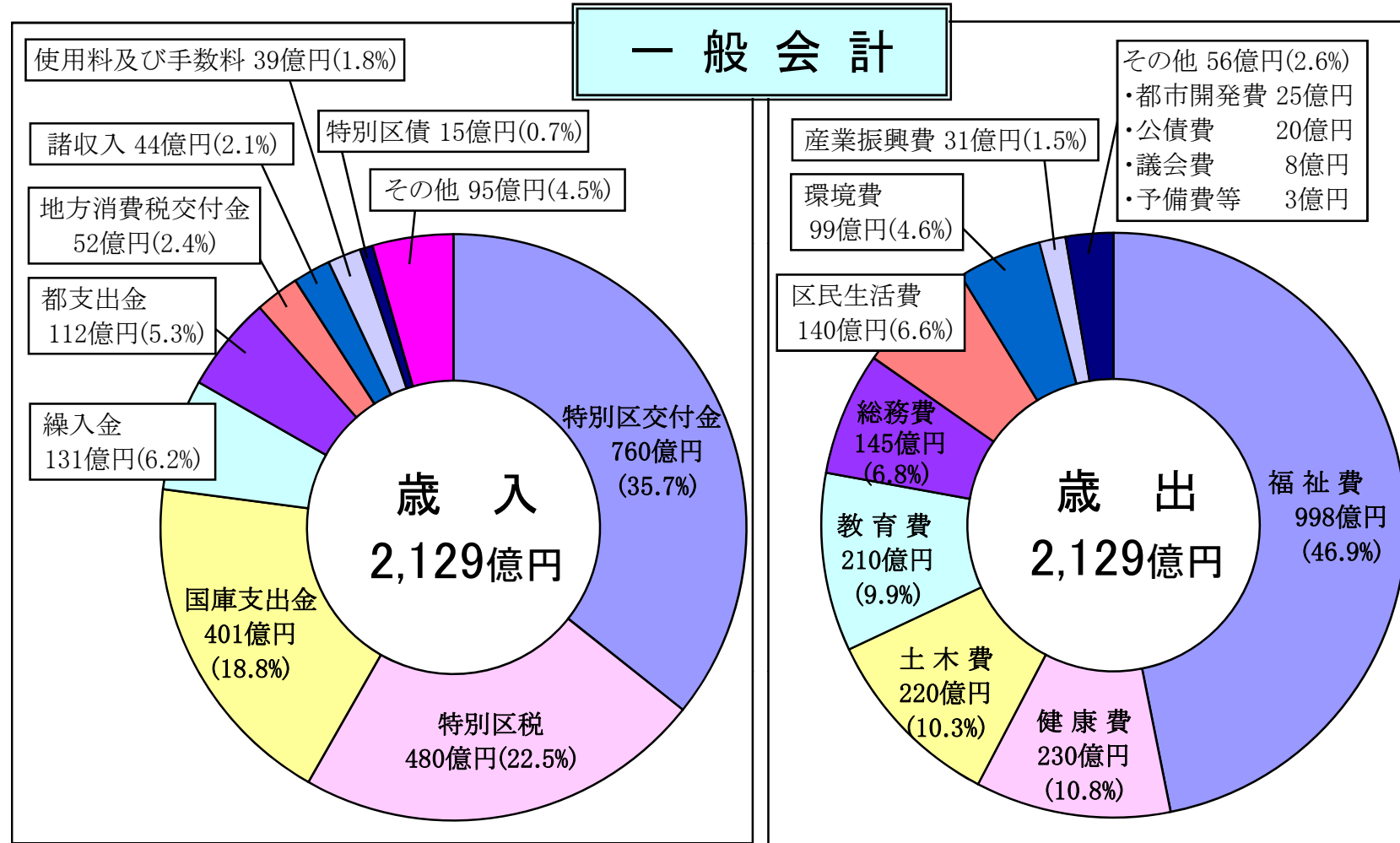


公債(区債)とは…

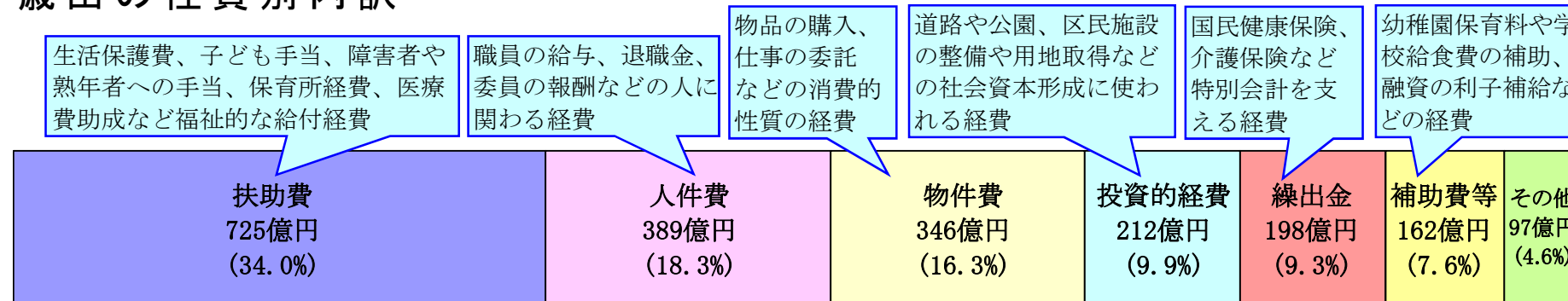
家計でいうと住宅ローンなどの借金です。
 道路整備や学校の大規模改修など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借り入れ、負担の公平を図っています。

平成22年度 当初予算の概要

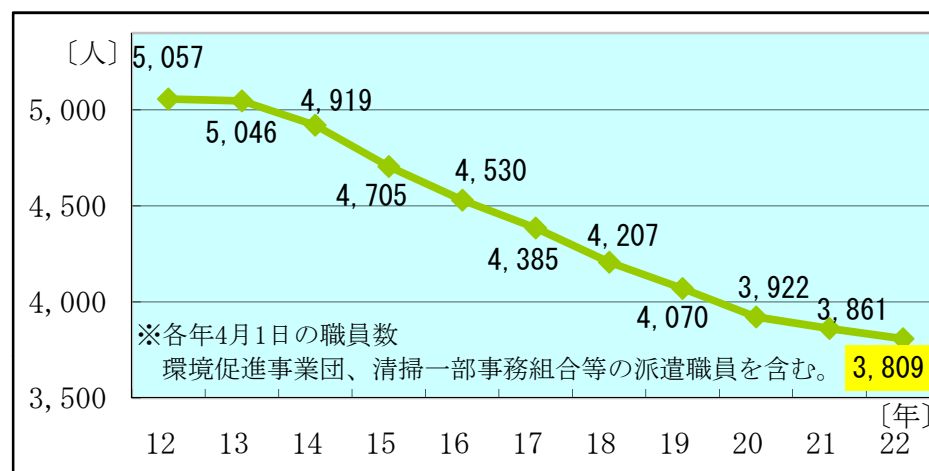
※各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。



歳出の性質別内訳



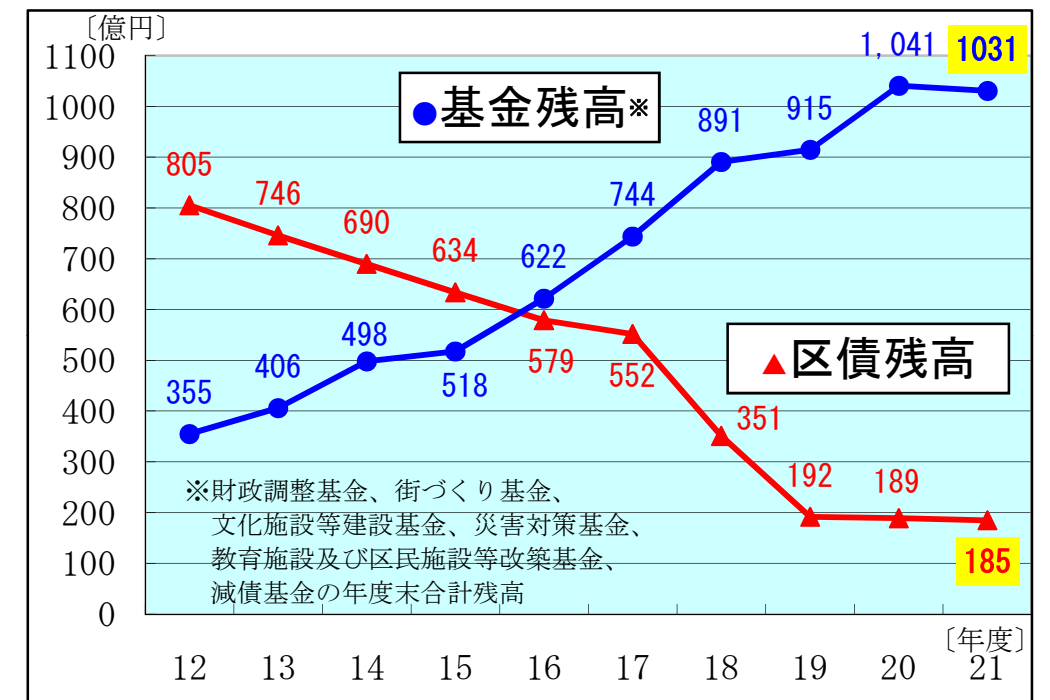
職員数の推移



区の職員数は、清掃事業が移管された12年度に5,057人まで増加しましたが、行財政改革などにより、22年度には3,809人となり、10年間で1,248人減少しています。
この結果、人口千人あたり職員数は、23区の中で2番目に少ない良好な状況となっています。

おもな新規・拡充・重点事業

- 子ども手当(児童手当)の支給** 22年度予算額 <139億5,360万円>
中学校修了までの児童を養育している方に、児童一人につき月額13,000円を支給します。
- 子ども未来館の運営** <9,279万円>
子どもたちの理知活動や探究活動の基地として、様々な体験プログラムを提供します。
- 東小岩地区図書館の建設** <12億9,904万円>
現在の小岩図書館を東小岩3丁目に新築移設します。23年12月の開館を目指し、建設を進めます。
- 東葛西地区区民施設の建設** <12億5,776万円>
区内31番目の地域施設として、23年4月の開館を目指し、建設を進めます。
- ヒブワクチン接種費用の助成** <1億4,425万円>
ヒブ(インフルエンザ菌b型)による細菌性髄膜炎にかかりやすい、生後2か月～4歳のお子さんを対象に、ヒブワクチンの接種費用の半額を助成します。
- 密集住宅市街地整備促進事業** <5億2,267万円>
木造住宅が密集した地域の住環境を向上させるため、道路・公園などの整備を進めていきます。
- 総合自転車対策の推進** <13億3,627万円>
駅周辺の駐輪需要に対応し、まちの景観や秩序を保てるよう、放置自転車ゼロを目指します。
- 都市計画道路・橋梁の整備** <52億1,740万円>
災害に強いまちをつくるため、区民生活に最も身近な都市計画道路と橋梁を整備します。



区債残高は、18年度及び19年度に繰上償還を実施したため、21年度末で185億円まで減少しました。
主要積立基金の残高は、区民施設や図書館の建設で「文化施設等建設基金」を取崩したことなどにより21年度末では1,031億円になりました。